岩手県立大学地域政策研究センター 令和3年度地域協働研究(ステージI) <研究課題名:「在住外国人の実態調査による多文化共生社会推進に向けた施策提案 -岩手県盛岡市の事例—」>

盛岡市在住外国人の生活と意識に関する 調査報告書

- 多文化共生社会の推進に向けて-

令和4年3月

盛岡市交流推進部文化国際課

岩手県立大学総合政策学部 山田研究室・Tee 研究室

目次

1.	調査概要	2
	(1) 調査の目的と方法	2
	(2) 実施体制	2
	(3) 回答数および回収率	2
2.	調査結果	3
	問1 あなたのことを教えてください。	3
	問2 あなたの 日本語について 教えてください。	6
	問3 あなたが 住んでいる 地域のことについて 教えてください。	7
	問4 あなたの今の生活について教えてください。	9
3.	考察と今後の施策提案1	14
ľ	謝辞】2	24
[参考資料】	1
	(1) 調査依頼文書	2
	(2) 郵送調査票	2
	(3) 封筒(発送用)	6
	(4) 封筒(返信用)	7

1. 調査概要

(1)調査の目的と方法

【目的】盛岡市内の在住外国人は令和2 (2020) 年の新型コロナウイルス感染拡大前まで増加傾向にあり、平成31年4月の出入国管理法の改正により、アフターコロナにおいては、さらなる増加が見込まれている。しかし、特に就労在住外国人については生活実態等の把握が難しく、対応が困難な状況になっている。在住外国人の増加に伴い、自治体として、これまで以上に総合的・体系的な対応が必要となってくることから、本研究では在住外国人の実態調査(アンケート調査)を行うことで、現在の課題やニーズを浮き彫りにし、それらに添った解決策(施策等)を提示していくことを目的とした。

なお、本調査は、岩手県立大学地域政策研究センターの令和 3 年度地域協働研究(ステージ I)に採択された共同研究(研究課題名:「在住外国人の実態調査による多文化共生社会推進に向けた施策提案-岩手県盛岡市の事例—」)の一環として実施した。

【方法】

*対象: 盛岡市在住の全ての在住外国人(18歳以上)

*調査期間:令和3(2021)年8月6日~同8月25日

*配布数:1,458

*依頼方法:対象者に「盛岡市在住外国人アンケート調査」の依頼文書と調査票(日本語)、および返信用封筒を郵送

*アンケートの回答方法:

- ・①郵便による調査票の返送 あるいは②Google フォームでの Web 回答のいずれかを回答者が選択
- ・依頼文書には、Google フォームの回答にアクセスするための QR コードを言語ごとに付した。
- *使用言語:日本語(ルビ付き日本語)・英語・中国語・ベトナム語・ミャンマー語
 - ・依頼文書には、日本語の他、英語・中国語・ベトナム語・ミャンマー語を併記した。
 - ・郵送した紙の調査票は日本語のみとし、Google フォームでは上記 5 言語から選択
 - ・送信・返信用封筒のいずれも、主文は日本語で表記し、連絡先等は他の4言語を併記した。
- *周知方法・協力依頼:盛岡市内および近隣自治体の専門学校・大学や在住外国人の就労先に対し、 アンケートの協力を呼びかけるポスター等の掲示を依頼した。

(2) 実施体制

*調査企画・実施者:主に下記メンバーで協議しながら調査の企画・実施・集計・考察を行った。なお、本報告書の執筆およびその元となる分析も下記3名の共同作業による。

盛岡市交流推進部文化国際課(担当:山田祐子)

岩手県立大学総合政策学部 教員 2 名(山田佳奈・准教授・研究代表者/Tee Kian Heng・教授)

(3)回答数および回収率

	郵送	292 (内 無効 0)	
回答数	Web (Google フォーム)	278 (内 無効 2)	
	合計	570 (内 無効 2)	回収率:38.96%(有効回答数 568)

2. 調査結果

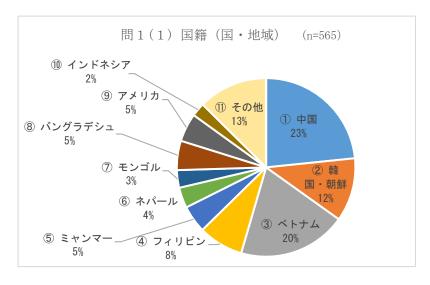
本節では、調査結果の単純集計結果およびそれらの結果から読み取れる傾向を記す。

なお、各質問肢の文言はそのまま記載しているが、実際の調査票では漢字にルビを付すなど、体裁 は若干異なる。詳細については本報告書の【参考資料】(2)郵送調査票を参照されたい。

問1 あなたのことを教えてください。 <回答者の属性>

問1(1) あなたの国籍(国・地域) はどこですか。(1つだけO)

国籍として「①中国」(23%)
が最も多く、次いで「③ベトナム」(20%)、「②韓国・朝鮮」
(12%)、「④フィリピン」(8%)
となっている。さらに、「④ミャンマー」・「⑧バングラデシュ」・
「⑨アメリカ」がそれぞれ約5%
である。

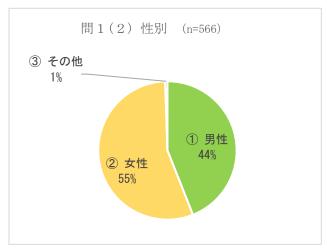


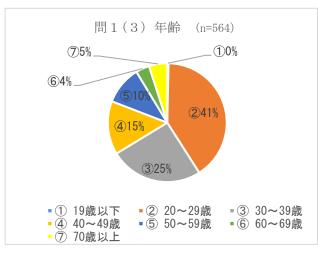
問1(2)あなたの性別を教えてください。(1つだけ〇)

「①男性」が 44%、「②女性」が 55%であり、割合としてはおおむね半々と言えるが、若干女性の割合が高い。

問1(3)何歳ですか。(1つだけ〇)

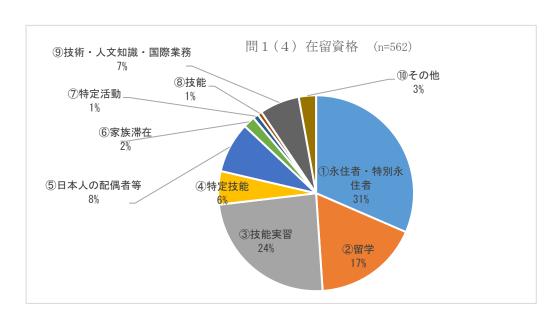
回答者を年代別に見ると「②20代」(41%) が最も多く、次いで「③30代」(25%)、「④40代」(15%) の順となっている。



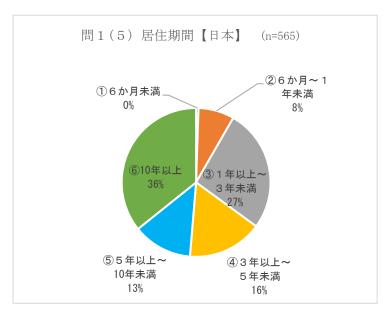


問1(4)在留資格はどれですか。(1つだけ〇)

在留資格別に見ると、「①永住者・特別永住者」(31%)が最も多く、続いて「③技能実習」(24%)、「②留学」(17%)、「⑤日本人の配偶者等」(8%)、「⑨技術・人文知識・国際業務」(7%)の順に多い。

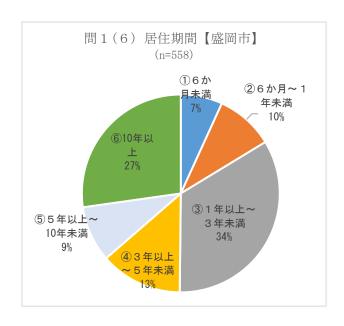


問1(5)日本には全部でどのくらい住んでいますか。(1つだけ〇)



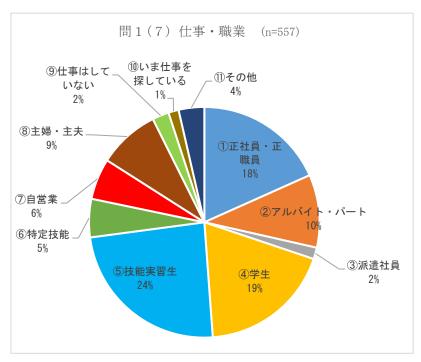
日本での居住期間は、「⑥10年以上」(36%)という回答が最も多かった。その次に多い回答は「③1年以上~3年未満」(27%)である。

問1(6)盛岡市には全部でどのくらい住んでいますか。(1つだけ〇)



盛岡市での居住期間は「③1 年以上~3 年未満」 (34%) が最も多く、その次が「⑥10 年以上」 (27%) となった。

問1(7)あなたの仕事・職業を教えてください。(1つだけ〇)



仕事・職業については「⑤技 能実習生」(24%) に次いで「④ 学生」(19%)・「①正社員・正職 員」(18%) の割合が高い。

前2者(技能実習生・学生) 合わせて4割強となっており、 問1(3)の年齢構成で見たよう に、今回の回答者は比較的若い 世代が多いことが分かる。

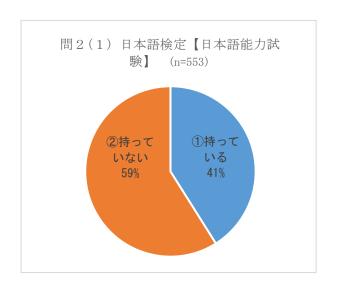
以上、問1では回答者の属性を概観した。この中で特に年齢や在留資格等の割合は在住外国人の 住民登録情報とほぼ同じ割合となっており、このアンケートは特定の年代や在留資格、国籍等に偏ったものではないといってよいだろう。

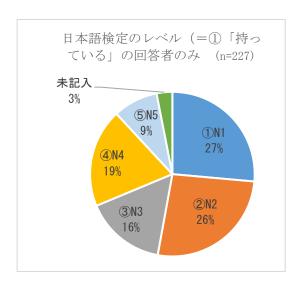
問2 あなたの日本語について教えてください。

問2(1)あなたは 日本語検定(日本語能力試験)を 持っていますか。 ①持っている(次の<u>1つ</u>に○ ⇒ N5 · N4 · N3 · N2 · N1) ②持っていない

日本語検定(日本語能力試験)の有無については、回答者の半数以上が「②持っていない」と 回答している。

また、この日本語検定を「①持っている」とした回答者にその検定レベルを尋ねたところ、① N1 (27%) と②N2 (26%) の保有者がほぼ同数であった。

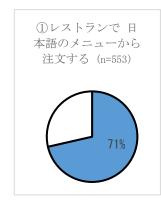


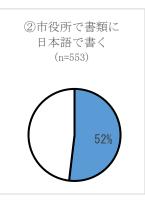


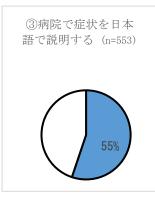
問2(2)あなたが日本語でできることはどれですか。(いくつでも〇)

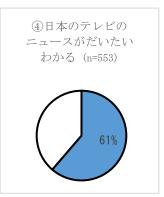
日常生活場面において日本語でできることを尋ねたところ、4 項目のうちで「①レストランで日本語のメニューから注文する」(71%)の割合が最も大きかった。

他方、日本語での書類の記載(②:52%)や病状の説明(③:55%)といった場面では、およそ 半数の回答者が日本語の使用に困難を感じていることがうかがえた。こうした住民生活に必要な手 続きや健康面に関わる点での言語サポートがより求められるといえる。







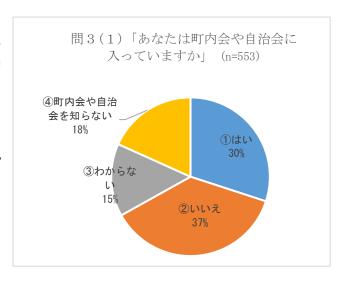


問3 あなたが住んでいる地域のことについて教えてください。

問3(1) あなたは町内会や自治会に入っていますか。(1つだけ〇)

町内会や自治会の加入状況について尋ね たところ、明確に加入が確認された割合は約 3割であった。

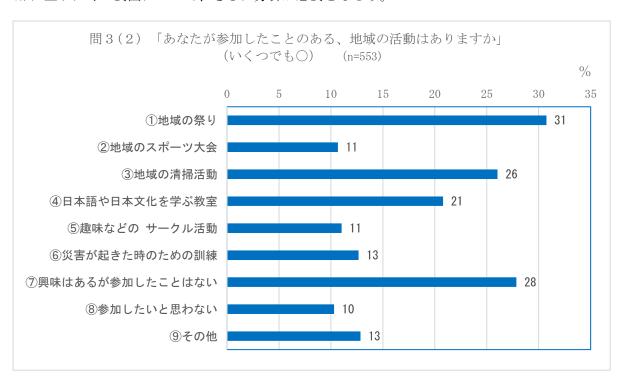
また、「④町内会や自治会を知らない」が 18%、「③わからない」が15%となっており、 全体のおよそ3分の1の回答者が町内会や 自治会の加入状況、あるいはそれらの存在・ 制度自体が認識されていない可能性がある。



問3(2) あなたが参加したことのある、地域の活動はありますか。(いくつでも〇)

回答として最も多い「①地域の祭り」(31%) は、相対的に言葉や習慣の相違を感じにくく、地域行事の中でも参加しやすい形態の一つと思われる。次に多いのは「⑦興味はあるが参加したことはない」(28%)であり、さらに「③地域の清掃活動」(26%)、「④日本語や日本文化を学ぶ教室」(21%)と続く。その他の回答の割合は、概ね10%前後となっている。

2番目に回答が多かった「⑦興味はあるが参加したことはない」という層に関しては、実際の参加に至りにくい要因について、さらに分析が必要となろう。

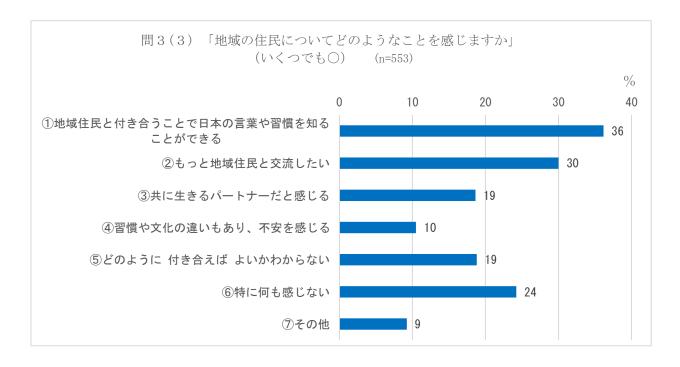


問3(3) 地域の住民についてどのようなことを感じますか。 (いくつでも〇)

地域住民に対する感じ方としては、「①地域住民と付き合うことで 日本の言葉や習慣を知ることができる」(36%)、「②もっと地域住民と交流したい」(30%)、「⑥特に何も感じない」(24%)の順で多く、「③共に生きるパートナーだと感じる」(19%)と「⑤どのように付き合えばよいかわからない」(19%)がほぼ同数であった。

これらの回答のうち、「②もっと地域住民と交流したい」という回答が一定数(30%)見られることから、在住外国人と地域住民双方の希望が近づく可能性を見出すことができる。

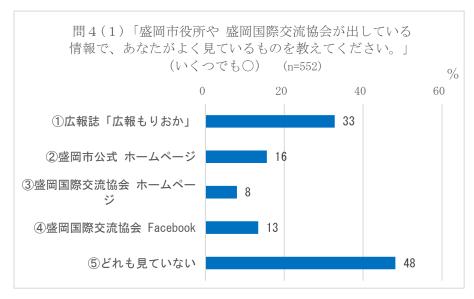
他方、「⑤どのように付き合えばよいかわからない」(19%) や「④習慣や文化の違いもあり、不安を感じる」(10%) という結果をふまえると、地域における住民間の関わり方は、時間をかけて醸成していくことも必要となろう。



問4 あなたの今の生活について教えてください。

問4 (1) 盛岡市役所や盛岡国際交流協会が出している情報で、あなたがよく見ているものを教えてください。(いくつでも \bigcirc)

問4では、在住外国人が生活情報や行政情報を得る際にどのようなメディアを用いることが多い か把握するため、情報の媒体に関する質問を設定した。



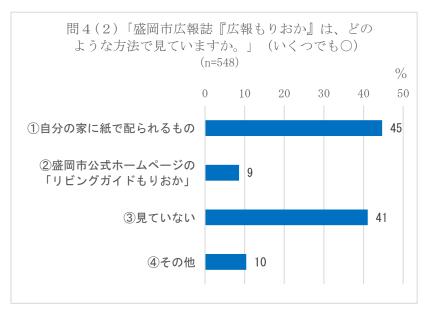
まず問4(1)では、盛 岡市役所や盛岡国際交 流協会が出している情 報について尋ねた。

結果としては、「⑤どれも見ていない」(48%)、「①広報誌『広報もりおか』」(33%)、「②盛岡市公式ホームページ」(16%)の順に割合が高い。

このように、半数以上

の回答者が盛岡市あるいは盛岡国際交流協会の情報を見ていないことから、これらの情報に、より アクセスしやすい方法を検討することが必要といえる。

問4(2)盛岡市広報誌「広報もりおか」は、どのような方法で見ていますか。(いくつでも〇)

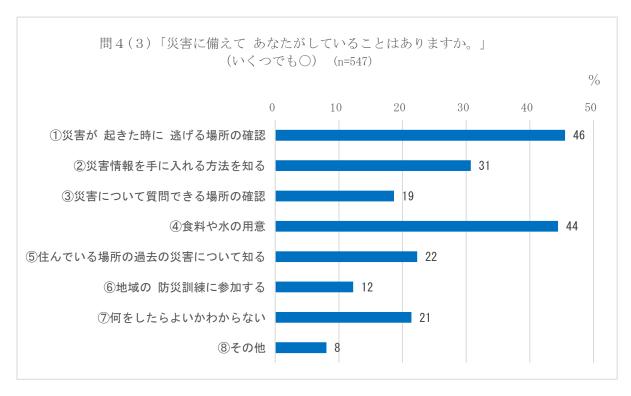


「広報もりおか」については 「①自分の家に紙で配られるも の」(45%)を見ている人が最 も多かったものの、「③見てい ない」(41%)と回答した割合 と大きな差は見られない。ま た、盛岡市公式ホームページの 「リビングもりおか」を見てい る人は9%と1割に満たないこ とから、上記(1)と同様、行政 情報の発信の仕方については工 夫が必要となろう。

問4(3) 災害に備えて あなたがしていることはありますか。(いくつでも〇)

最も多い回答は「①災害が起きた時に逃げる場所の確認」(46%)であるが、「④食料や水の用意」(44%)とほぼ同数といってよい。次に多い回答は「②災害情報を手に入れる方法を知る」(31%)であり、「⑤住んでいる場所の過去の災害について知る」(22%)と「⑦何をしたらよいかわからない」(21%)も、ほぼ同数の回答である。

また、「⑥地域の防災訓練に参加する」(12%)の回答者は1割強であることから、災害に備えた体制づくりもまた課題の一つといえよう。

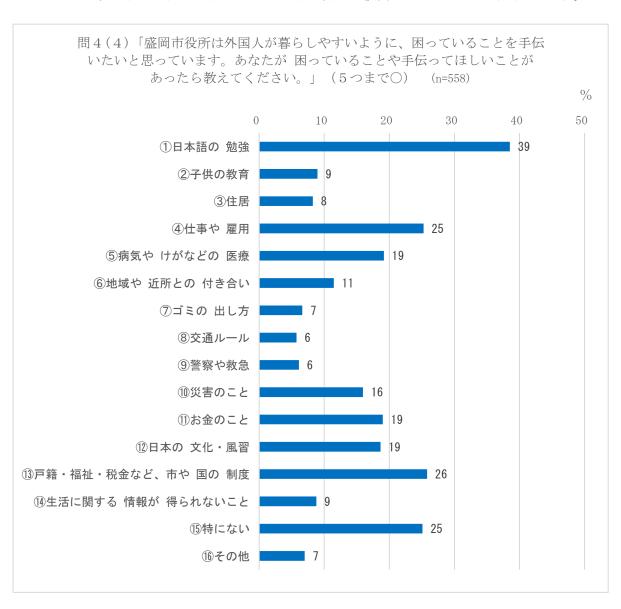


問4(4) 「盛岡市役所は外国人が暮らしやすいように、困っていることを手伝いたいと思っています。あなたが 困っていることや手伝ってほしいことがあったら教えてください。」(5つまで〇)

この質問で最も多かった回答は「①日本語の勉強」(39%) である。続いて、「③戸籍・福祉・税金など、市や国の制度」(26%)、「④仕事や雇用」(25%)、「⑤特にない」(25%) の3項目は、ほぼ同数の回答が得られた。次に、「⑤病気やけがなどの医療」(19%)、「⑪お金のこと」(19%)、「⑫日本の文化・風習」(19%) も、割合として大きな差はない。

このように、困ったことや手伝ってほしいことは「⑤特にない」とする回答者も一定数見られるが、「①日本語の勉強」や公的制度、仕事、医療に関することなど、住民が安定的な生活を営むうえで必須となる項目が上位にのぼっていることが分かる。

他方で、「⑥地域や近所との付き合い」(11%)や「⑭生活に関する情報が得られないこと」 (9%)についても、1割前後の回答が得られている。解決に向けた方法はそれぞれ異なることが 予想されるが、いずれも問3や問4(1)の内容と併せて検討を進めることが肝要であろう。



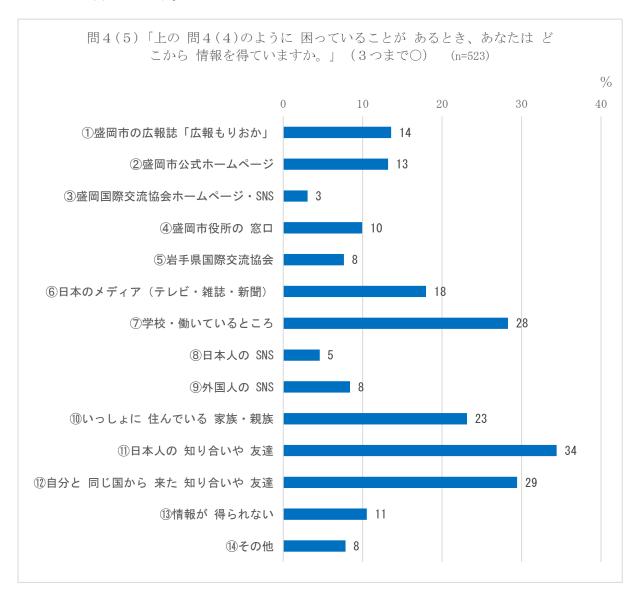
問4 (5) 上の 問4 (4) のように 困っていることが あるとき、あなたは どこから 情報を得ていますか。(3つまで \bigcirc)

本設問も「情報」と関わる内容である。

最も多い回答は「⑪日本人の知り合いや友達」(34%)であり、次いで「⑫自分と同じ国から来た知り合いや友達」(29%)、「⑦学校・働いているところ」(28%)、「⑩いっしょに住んでいる家族・親族」(23%)の順となっている。いずれも、人的つながりによる情報入手といってよい。

その後に「⑥日本のメディア(テレビ・雑誌・新聞)」(18%)、①「盛岡市の広報誌『広報もりおか』」(14%)、「②盛岡市公式ホームページ」(13%)、「⑬情報が得られない」(11%)、「④盛岡市役所の窓口」(10%)が続く。

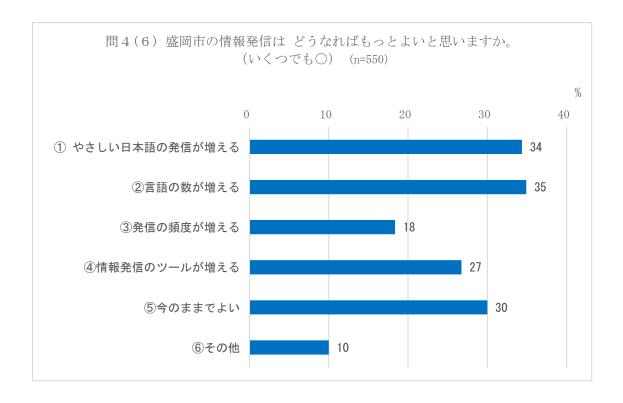
必要とする情報の内容は状況によって異なるであろうが、こうした結果を通して、必要な時に 必要な情報をどこから得られるのか、そのルートをより分かりやすい形で発信していく重要性を あらためて確認できよう。



問4(6) 盛岡市の情報発信はどうなればもっとよいと思いますか。(いくつでも〇)

本設問は、盛岡市の今後の情報発信に関する希望・期待を尋ねたものである。

回答数としては「②言語の数が増える」(35%) が最も多いが、「①やさしい日本語の発信が増える」(34%) がほぼ同数であった。続いて、「⑤今のままでよい」(30%)、「④情報発信のツールが増える」(27%)、「③発信の頻度が増える」(18%) の順となっている。



3. 考察と今後の施策提案

本節では、前節で示した単純集計結果と属性等の回答をクロス集計し、その分析に基づき考察を 行う。また、それらの結果をふまえ、今後、盛岡市(以下「市」という)あるいは(公財)盛岡国 際交流協会(以下「協会」という)が進めうると思われる具体的な施策を提案する。

なお、以下で示すクロス集計表では、回答者の特定を避けるため、該当者数が少ない属性につい て合算して示している箇所がある。

問2 あなたの日本語について教えてください。

<問2:分析>

問2(1)の日本語能力検定の有無と本項目の回答者の在留資格をクロス集計したところ、留学 者の有資格割合が高いことが分かる【表1】。

表 1	1日2	▶語能力資格」× 「	在留資格	各」のク	ロス表						
							在留資	格			
	日本語能力資格 × 在留資格			②留学	③技能 実習	④特定技 能	の日本人の記録を		1 1/ 4 n	⑩その他	総計
日本語能力資	1	持っている	42	72	47	12	14	10	22	7	227
格	2	持っていない	126	25	87	19	33	10	15	9	326
	総計			97	134	31	47	20	37	16	553

問2(2)の「あなたが日本語でできること」を見ると、回答総計としては「2 市役所で書類に 日本語で書く」が最も低い値である【表2】。

他方、この2の項目と、問1で把握した在留資格・在留年数それぞれの総数をクロス集計すると、 「⑨技術・人文知識・国際業務」・「②留学」・「①永住者・特別永住者」の選択割合は6~7割の値を 示しているが、「④特定技能」および「③技能実習」ではいずれも2割台である。

また、在留年数が5年未満の層では、4項目のうち「3病院で症状を日本語で説明する」の選択 割合が最も低かった。

表2 「日本語でできること」×「在留資格・在留年数」のクロス表

							在留資格							在留年数			
	B	× 在留資格	①永住 者・ 特別永 住者	②留学		④特定	り日本 人の 配偶者	滞在・ ⑦特定	⑨技 ・ ・ 知 ・ 職 業 際 業	⑩その 他	総計	① 6 未 2 6 1 4 1 4 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	以上~ 3年未			⑥10年 以上	総計
	1	レストランで日本語のメ ニューから 注文する	135	67	77	24	33	14	30	13	395	23	95	59	65	153	395
日本語ででき	2	市役所で書類に日本語で書 く	116	68	35	7	17	8	26	8	287	19	58	44	40	126	287
ること	3	病院で症状を日本語で説明 する	144	44	31	9	31	10	24	10	305	12	53	30	51	159	305
	4	日本のテレビのニュースが だいたいわかる	138	58	53	11	29	11	25	8	339	19	69	40	51	157	339
		総数	177	98	136	31	47	20	37	16	562	47	151	92	73	202	565

また、「あなたが日本語でできること」と問2(1)日本語能力検定の資格有無の関係を見ると、 検定を「①持っている」人の中では「3病院で症状を日本語で説明する」を選んだ人が最も少なく (約6割)、「②持っていない」人の中では「2市役所で書類に日本語で書く」を選んだ人が最も少 ない(約4割)ことが分かる【表3】。

表3 「日本語でできること」×「日本語能力資格」のクロス表

		日	本語能力資	格
語でで	できること×日本語能力資格	①持っ ている	②持っ ていな い	総計
1	レストランで日本語のメ ニューから注文する	183	208	391
2	市役所で書類に日本語で書く	154	130	284
3	病院で症状を日本語で説明す る	136	166	302
4	日本のテレビのニュースがだ いたいわかる	155	178	333
	1 2 3	- ニューから注文する 2 市役所で書類に日本語で書く 3 病院で症状を日本語で説明する 4 日本のテレビのニュースがだ	語でできること×日本語能力資格 1 レストランで日本語のメニューから注文する 2 市役所で書類に日本語で書く 3 病院で症状を日本語で説明する 4 日本のテレビのニュースがだ	1 レストランで日本語のメニューから注文する 183 208 2 市役所で書類に日本語で書く 154 130 3 病院で症状を日本語で説明する 136 166 4 日本のテレビのニュースがだ 155 178

総数 227 326 553

<問2:考察と施策提案>

以上のように、「あなたが日本語でできること」の4項目では「市役所で書類に日本語で書く」の値が最も低かったことから【表2・3】、在住外国人にとって「書く」という行為には難しさが感じられていると思われる。確かに、市役所の書類は日常生活で使用する日本語より難解なものも多く、在住外国人にとって負担となるものと推察される。

そこで、まずは、市役所内の手続き書類の多言語化やサポート強化、また書類の内容を「書く」のではなく「選択式」にするなどの工夫を含めた、「在住外国人に対するサポートの強化」に取り組むことを提案する。市役所内から始めるが、この動きが市民や在住外国人を巻き込みながら徐々に広がっていくことが望ましい。

具体的な取り組み例としては、「多文化共生ワークショップの開催」として、在住外国人や協会のボランティア、市役所関係課を対象に、「多文化共生」「在住外国人に対する支援」「やさしい日本語」を共通テーマとしたワークショップを開催することが考えられる。特に、在住外国人が関わることが多い「防災」「健康保険」「交通」などの具体的テーマや具体の場面を想定し、市の文書や発信方法、支援などについて検討する内容とする。

このワークショップにより、市役所関係課には在住外国人の現状や支援・情報伝達の過不足について把握し、今後の施策に生かす機会となり、またボランティアには、在住外国人支援および多文化共生に対する意識の醸成やボランティア育成の機会となることで、在住外国人に対する市の内部・外部両面からのサポート強化につながるものと考える。同時に、こうした取り組みが在住外国人には市の支援体制の周知や地域づくりへの参加の機会となり、かつ、不安の解消につながることを期待したい。

加えて、病気になった時に日本語で症状を説明する際の困難さもうかがえた。特に在留年数の短い層にこの傾向が見られたが、日本語能力検定の有資格者の回答割合も低かったことから、病院や関係機関との連携がどのように図れるか、さらに検討が必要であろう。

問3 あなたが住んでいる地域のことについて教えてください。

<問3:分析>

問3 (1) 町内会あるいは自治会への加入状況と在留資格・在留年数の関係を見たところ、最も加入割合が高いのは「①永住者・特別永住者」であり、7割近い【表4】。他方、「4 町内会や自治会を知らない」という回答については、相対的には「②留学」や「③技能実習」資格者にその割合が高いといえる。

また、「3 わからない」と「4 町内会や自治会を知らない」を合わせた数値を在留年数との関係で見ると、5 年未満の場合はおよそ $4\sim5$ 割と、在留 5 年以上の回答割合と異なる傾向が見て取れる (5 年 \sim 10 年未満は 26.4%、10 年以上は 14.9%)。

双 4	可以子・日信子加入」 マー任管員	作で在画	十数」の	7 1 1 AX												
						在留資格							在留	年数		
	町内会・自治会加入 × 在留資格・在留年数		②留学	③技能 実習	④特定 技能	⑤日本 人の 配偶者 等	⑥滞・定・能 8	⑨ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	⑩その 他	総計	① 日未 名 6 2 日 4 日 4 日 4 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	③1年 以上~ 3年未 満	以上~	⑤5年 以上~ 10年未 満	⑥10年 以上	総計
	1 はい	115	8	6	1	20	6	4	5	165	4	11	9	17	124	165
町内会・ 自治会加	2 いいえ	33	50	59	18	16	6	19	1	202	19	72	36	36	41	204
入	3 わからない	13	11	33	5	8	6	4	2	82	7	21	23	12	19	82
	4 町内会や自治会を知らない	8	27	36	7	3	2	10	8	101	15	45	24	7	10	101
	総計	169	96	134	31	47	20	37	16	550	45	149	92	72	194	552

問3 (2)「参加したことのある地域の活動」については、2番目に回答数の多い「7 興味はあるが参加したことがない」の回答者のうち、在留資格別でみると、「④特定技能」(67.7%)、「⑨技術・人文知識・国際業務」(43.2%)、「③技能実習」(31.6%)、「②留学」(27.6%)の順に多い【表5】。また、在留年数別でこの項目を見ると、在留1年未満(①+②)の場合は44.7%と最も割合が高く、その次に「⑤5年以上~10年未満」(35.6%)と「③1年以上~3年未満」(34.4%)がほぼ同率となっている。

表5 「参加した地域活動」×「在留資格・在留年数」のクロス表

						在留資格							在留年数			
	参加した地域活動 × 在留資格・在留年数	①永住 者・ 特別永 住者	②留学		④特定 技能		⑥家・ 滞在・ で で で で で が 動 能	⑨技・ 術・知・ 識業 際業務	⑪その 他	総計	① 月 末 ・ か 1 る 6 1 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	③1年 以上~ 3年未 満	以上~ 5 年未		⑥10年 以上	総計
	1 地域の祭り	79	27	19	5	19	5	11	4	169	2	28	27	22	90	170
	2 地域のスポーツ大会	34	11	5	1	5	1	1	1	59	1	10	8	7	33	59
	3 地域の清掃活動	91	5	25	0	12	5	2	3	143	2	23	9	13	97	144
	4 日本語や日本文化を学ぶ教室	21	46	2	4	12	6	14	9	114	12	26	27	22	28	115
参加した 地域活動	5 趣味などのサークル活動	25	16	0	0	8	3	6	3	61	2	8	11	8	32	61
	6 災害が起きた時のための訓練	27	11	22	0	2	2	3	2	69	1	25	8	9	27	70
	7 興味はあるが参加したことはない	28	27	43	21	11	5	16	3	154	21	52	27	26	28	154
	8 参加したいと思わない	13	8	23	1	4	2	3	1	55	7	14	13	4	18	57
	9 その他	23	8	26	1	4	4	1	4	71	8	18	13	6	26	71
	総数	177	98	136	31	47	20	37	16	562	47	151	92	73	202	565

問3 (3)「地域の住民」に対する意識については、「2 もっと地域住民と交流したい」と感じている回答割合として、在留資格別では「②留学」(49%)、「⑨技術・人文知識・国際業務」(45.9%)、「④特定技能」(35.5%)、「③技能実習」(35.3%)の順で多く、また、在留年数別でみると5年未満の回答者の割合が高い【表6】。

同時に、在留年数が短い層では、「5 どのように付き合えばよいかわからない」とする回答割合も相対的に高い傾向にある。

表6 「	地域住民に対する意識」×	「在留資料	各・在留年	手数」の タ	フロス表											
						在留資格							在留年数			
	地域住民に対する意識 × 在留資格・在留年数	①永住 者· 特別永 住者	②留学	③技能 実習	技能	人の	⑥家在・ ⑦活 で で で で で で が 動 だ も り も り も も も も も も も も も も も も も も も	⑨技 術・丸 識・業 際業務	⑩その 他	総計	① 月 末 ・ か 1 高 6 1 二 満 6 十 満 二 未 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	③1年 以上~ 3年未 満	④3年 以上~ 5年未 満	⑤5年 以上~ 10年未 満	⑥10年 以上	総計
	地域住民と付き合うこと 1 で日本の言葉や習慣を知 ることができる	62	46	43	14	14	4	11	5	200	11	58	31	33	67	200
	2 もっと地域住民と交流し たい	22	48	48	11	8	6	17	6	166	18	58	44	17	29	166
	3 共に生きるパートナーだ と感じる	53	17	10	6	6	4	4	2	103	4	15	16	16	51	103
地域住民 に対する 意識	4 習慣や文化の違いもあり、不安を感じる	8	13	18	1	7	4	5	2	58	5	23	11	6	13	58
	₅ どのように 付き合えば よいかわからない	16	22	32	5	6	5	13	4	104	14	40	18	13	19	104
	6 特に何も感じない	45	27	18	7	16	6	7	7	134	12	27	13	25	56	134
	7 その他	20	4	19	2	3	0	2	1	51	6	13	10	2	20	51
	総数	177	98	136	31	47	20	37	16	562	47	151	92	73	202	565

<問3:考察と施策提案>

以上のように、今回の回答の中では「もっと地域住民と交流をしたい」を選択している人が7項目中2番目に多かった【表6】。他方、令和元年度に市が実施した町内会・自治会を対象とした調査でも「地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい」という意見が多数あったことから、在住外国人・日本人双方にとって「関わりたい」という希望があることがわかる。

そこで、在住外国人と日本人(特に「地域」の外国人と日本人)の交流機会の創出を一層促進することを提案する。

具体取な取り組み例としては、協会が主催する国際理解講座の拡充として、在住外国人が多い地域の町内会・自治会や雇用企業に対し積極的に働きかけをし、在住外国人と地域住民との交流機会を創出することが考えられる。

国際理解講座は、国際交流に関心のある団体等に対して外国の現状について学び国際理解を深める講座であるが、今までは市内で広く参加団体を募っていたため、講座終了と同時に交流機会も終了していた。しかし、現行の取り組みに加え、地域コミュニティにおける講座の開催を積極的に働きかけ、在住外国人と地域住民の交流のきっかけの豊富化を促すこともまた、「多文化共生社会」に向けた一歩となろう。

また、このような機会の創出の積み重ねを通して、日常的に円滑なコミュニケーションを築くことが、災害などの非常時における在住外国人支援にもつながることを期待する。

問4 あなたの今の生活について教えてください。

<問4:分析>

前節で見たように、今回のアンケート結果(問4(1))からは、市や協会が発信した情報を外国籍住民が見ている割合は低いことが予想される。

こうした情報について、「5 どれも見ていない」の回答は多くの在留資格において高い割合を示しているが、特に技能実習資格者の割合が高いことが分かる【表7】。また、情報を見ている人々の回答においては、特に「①永住者・特別永住者」は広報誌「広報もりおか」から情報を得ている割合が高い(50.3%)といえるが、他の資格者の場合は Web 上(市 HP や協会 Facebook)から情報を入手する機会がより多いことがうかがえる。

在留年数別では、「⑥10年以上」の回答者の約半数が1の「広報もりおか」を選択しているが、 その他の在留年数の層ではこの項目は全て2割台であり、Web上からの情報入手割合が相対的に高いことが確認できる。

表7 「感岡市情報」×「在留警格・在留年数」のクロス表

							在留資格							在留年数			
		盛岡市情報の収集 × 在留資格・在留年数	①永住 者· 特別永 住者	②留学	③技能 実習	④特定 技能	人の配偶者	⑦特定	⑨技 術・丸 文 識・業 際業	⑩その 他	総計					⑥10年 以上	総計
	1	広報誌「広報もりおか」	89	35	20	7	14	6	4	4	181	10	32	22	16	99	181
盛岡市	2	盛岡市公式 ホームページ	26	23	7	4	5	9	7	5	86	9	19	15	15	28	86
情報の収	3	盛岡国際交流協会 ホームページ	9	20	4	0	3	1	6	1	44	5	14	9	6	10	44
集	4	盛岡国際交流協会 Facebook	12	17	20	3	7	4	9	2	74	9	24	17	11	13	74
	5	どれも見ていない	66	35	93	17	24	5	18	6	266	23	82	47	34	80	266
		総数	177	98	136	31	47	20	37	16	562	47	151	92	73	202	565

また、「広報もりおか」を見る手段については、紙で配られる広報を見ている人の割合は在留年数別では「⑥10年以上」において最も高く、6割を超えている【表8】。

表8 「広報もりおかを見る手段」×「在留資格・在留年数」のクロス表

							在留資格							在留年数			
		× 在留資格・在留年数	①永住 者· 特別永 住者	②留学	③技能 実習	④特定 技能	人の配偶者	⑥家在・ ⑦特動 活動 1 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	⑨技・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	⑩その 他	総計	① 月 末 ・ 別 る か 月 年 、 月 年 、 月 年 、 月 年 、 月 年 、 月 、 月 年 、 月 、 月	③1年 以上~ 3年未 満		⑤5年 以上~ 10年未 満	⑥10年 以上	総計
	1	自分の家に紙で配られるもの	110	40	35	12	19	8	11	7	245	14	47	30	28	124	245
広報もり	2	盛岡市公式ホームページの「リビング ガイドもりおか」	10	18	3	1	3	5	6	1	47	6	12	13	5	11	47
おかを見る手段	3	見ていない	50	37	67	13	23	7	19	8	225	21	69	41	33	61	225
	4	その他	3	10	31	5	3	3	2	0	57	7	25	14	8	3	57
		総数	177	98	136	31	47	20	37	16	562	47	151	92	73	202	565

次の問4(3)「災害に備えてあなたがしていること」を見ると、何らかの災害の備えをしている住民が多いことがうかがえる【表9】。

その一方、全体の約2割の人が「7何をしたらよいかわからない」を選択しており、在留資格別では「②留学」資格者(34.7%)が最も多く、その次に「④特定技能」(29%)が続く。

この項目について在留年数別で見ると 1 年未満(①+②)の住民に特に多く(44.7%)、年数を経るにしたがって徐々に割合は減るものの、5 年以上の層にも一定数の回答が見られる。

また、具体的な災害の備えの中で最も回答が少なかった項目は「6 地域の防災訓練に参加する」であった。いずれの在留資格においても回答は2割を切っているが、その中で最も割合が高い層は「③技能実習」資格者であった(19.1%)。

これらの結果は、先に述べた「町内会・自治会向けアンケート」(令和元年度)内容とあわせて、 地域防災体制の一層の整備に向けた基本データとなろう。

表9 「災害の備え」×「在留資格・在留年数」のクロス表

	・火音の備え」ハー仏田具名・仏田干家	1				在留資格							在留年数			
	災害の備え × 在留資格・在留年数	①永住 者· 特別永 住者	2留学	③技能 実習	④特定 技能	⑤日本 人の 配偶者	⑥家族 滞在・ ⑦特定 活動・ ⑧技能	⑨技 術・力 識・割 際業務	⑪その 他	総計	満・② 6か月	③1年	④3年	⑤5年 以上~	⑥10年 以上	総計
	1 災害が起きた時に逃げる場所の確	恩 97	37	58	9	22	9	10	6	249	10	65	34	29	111	249
	2 災害情報を手に入れる方法を知る	53	31	40	11	14	g	8	1	168	15	39	30	26	58	168
	3 災害について質問できる場所の確	图 32	14	30	2	7	4	- 5	6	102	6	25	22	13	36	102
災害の	4 食料や水の用意	86	32	60	6	26	8	17	6	243	15	61	34	33	100	243
備え	5 住んでいる場所の過去の災害につ て知る	, 33	17	36	8	12	8	4	2	122	12	33	24	14	38	122
	6 地域の防災訓練に参加する	12	12	26	2	7	2	2	3	67	3	21	16	9	18	67
	7 何をしたらよいかわからない	26	34	23	9	7	5	10	2	117	21	31	20	13	32	117
	8 その他	16	4	16	0	5	2	0	1	44	2	16	4	4	18	44
	総数	177	98	136	31	47	20	37	16	562	47	151	92	73	202	565

問4(4)「困っていることや手伝ってほしいこと」については、「1 日本語の勉強」の回答数が最も多く、全回答者の約4割が選択している【表10】。この項目は、ほぼ全ての在留資格・在留年数で選択されており、特に在留年数が5年未満の層では、およそ半数が選択している。しかし、永住者・特別永住者や在留期間が10年以上の回答者も一定数(約2割)見られることから、在留年数の長短に関わらず、日本語習得の機会が必要とされていることがうかがえる。

続いて、「13 戸籍・福祉・税金など、市や国の制度」および「4 仕事や雇用」の順に回答数が多く、これらもほぼ全ての在留資格・在留年数において選択されている。次に回答数の多いのは「15 特にない」であり、さらに「5 病気やけがなどの医療」や「11 お金のこと」、「12 日本の文化・風習」が続く。

特に5の医療については、在留資格別で見ると「⑩その他」(31%)・「②留学」(26.5%)・「③技能実習」(23.5%)の順で割合が高く、在留年数別では「③1年以上~3年未満」(25.8%)、「④3年以上~5年未満」(23.9%)の層で相対的に割合が高いことが分かる。

表10 「生活の困りごと」×「在留資格・在留年数」のクロス表

			在留資格									在留年数					
	生活の困りごと × 在留資格・在留年数		②留学	③技能 実習	④特定	入の	⑥家族 滞在・ ⑦特動 活 割技能	⑨技 術・丸 文 識・類 際業務	⑪その 他	総計	満・② 6か月		以上~	⑤5年 以上~ 10年未 満	⑥10年 以上	総計	
	1 日本語の勉強	36	37	65	22	16	13	17	6	215	22	75	46	31	40	215	
	2 子供の教育	21	4	1	3	10	2	3	4	50	0	7	5	10	27	50	
	3 住居	6	16	9	6	3	1	2	2	46	6	16	8	10	6	46	
	4 仕事や雇用	27	37	27	14	18	8	7	1	141	6	42	32	27	33	141	
	5 病気やけがなどの医療	23	26	32	5	5	4	5	5	107	7	39	22	14	24	107	
	6 地域や近所との付き合い	8	19	11	3	7	1	10	5	64	8	22	12	10	12	64	
	7 ゴミの出し方	6	6	9	5	2	3	6	0	37	0	10	11	11	5	37	
生活の困	8 交通ルール	6	9	8	3	1	2	3	0	32	3	10	5	7	7	32	
りごと	9 警察や救急	3	7	14	3	0	1	2	3	34	3	16	6	6	3	34	
	10 災害のこと	17	20	18	16	3	6	4	5	89	2	27	27	16	17	89	
	11 お金のこと	21	31	25	3	8	5	6	5	106	6	37	24	11	27	106	
	12 日本の文化・風習	18	26	26	11	7	4	11	1	104	19	31	18	16	20	104	
	13 戸籍・福祉・税金など、市や国の 制度	D 45	28	26	9	12	4	12	7	144	7	34	29	18	56	144	
	14 生活に関する情報が得られない。	11 ع	11	6	1	6	2	5	7	49	3	6	12	11	17	49	
	15 特にない	69	15	27	3	12	2	8	3	140	11	27	10	14	78	140	
	16 その他	19	3	9	0	4	C	3	1	39	2	5	4	6	22	39	
	総数	177	98	136	31	47	20	37	16	562	47	151	92	73	202	565	

問4(5)困ったことがあるときの情報の入手先については、前節で見たように、日本人の知り合いや自分と同じ国から来た知り合い、学校や勤め先といった人的つながりが上位を占めているが、在留資格別で見ると、永住者・特別永住者や日本人の配偶者等の場合は同居家族・親族の割合が最も高い【表11】。また、技能実習資格者については、上記の人的ネットワークの回答が多いものの、「13情報が得られない」の回答割合(19.1%)が全ての在留資格の中で最も高い。

表11 「困ったときの情報入手先」×「在留資格・在留年数」のクロス表

	在										在留年数					
× 在留資格・在留年数		①永住 者・ 特別永 住者	②留学	③技能 実習	④特定 技能	⑤日本 人の 配偶者 等	⑥家族 滞在・ ⑦特亜 活動 ・ ⑧技能	⑨抜・知・ ・知・ ・知・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ の ・ の ・ の ・ の	⑪その 他	総計	① 日未・② 日満・か 1 二 満 の 1 二 満	以上~	以上~		⑥10年 以上	総計
	1 盛岡市の広報誌「広報もりおか」	34	8	13	7	3	3	2	1	71	4	14	10	6	37	
	2 盛岡市公式ホームページ	20	18	7	7	4	7	5	1	69	6	14	17	14	18	6
	3 盛岡国際交流協会ホームページ・SNS	3	6	2	(1	0	3	1	16	2	2	5	2	5	1
	4 盛岡市役所の窓口	23	9	3	2	5	1	3	4	52	1	6	5	13	26	
	5 岩手県国際交流協会	8	14	6	(5	2	3	2	40	1	12	11	4	12	4
	6 日本のメディア(テレビ・雑誌・新聞)	36	8	22	4	10	6	6	1	94	2	25	13	13	41	ć
困ったと きの情報	日 / 学校・働いているところ	10	52	46	11	4	3	13	8	148	18	67	24	23	15	14
入手先	8 日本人のSNS	3	7	5	5	2	1	1	0	24	0	5	7	8	4	2
	9 外国人のSNS	8	8	7	2	7	1	8	3	44	1	10	12	10	11	4
	10 いっしょに住んでいる家族・親族	72	2	7		25	5	2	3	121	3	11	6	17	84	12
	11 日本人の知り合いや友達	43	26	41	15	16	10	14	12	180	11	40	35	42	51	18
	12 自分と同じ国から来た知り合いや友達	37	33	49	4	9	4	9	6	154	13	51	28	22	40	15
	13 情報が得られない	6	11	26	(2	4	- 5	0	55	12	20	10	4	9	5
	14 その他	16	7	13	2	2	0	1	0	41	6	12	6	1	16	4
	総数	177	98	136	31	47	20	37	16	562	47	151	92	73	202	56

問4(6)「盛岡市の情報発信」に対する希望・要望については、「2 言語の数が増える」と「1 やさしい日本語の発信が増える」がほぼ同数で最も多い【表 12】。

前者の「2 言語の数が増える」ことへの希望は、留学・特定技能資格者において、また、在留年数が3年未満の回答者において4割を超えている。

他方、技能実習と特定技能、永住者・特別永住者については、割合の差はあるものの、「1 やさしい日本語の発信が増える」の回答割合が「2 言語の数が増える」のそれを上回っている。

また、在留年数が10年以上の層においては「5 今のままでよい」あるいは「4 情報発信のツールが増える」ことを希望する割合が高く、10年未満の層では「1 やさしい日本語の発信が増える」あるいは「2 言語の数が増える」の希望が相対的に高いといえる。

表12 「盛岡市の情報発信に望むこと」×「在留資格・在留年数」のクロス表

3X12	200E 14	明 いの情報が旧に並びこと」 へっ仕書	1 A 10 1		0)) =)	`AL											
							在留資格					在留年数					
	盛		①永住 者・ 特別永 住者	②留学	③技能 実習	④特定	配偶有	⑦特定	⑨技・ ・知・ ・知・ ・ 職業務	⑩その 他	総計		③1年 以上~ 3年未 満			⑥10年 以上	総計
	1	やさしい日本語の発信が増える	41	38	59	14	15	6	11	3	189	12	65	35	29	47	189
#m+0	2	言語の数が増える	39	46	48	13	15	6	14	10	192	20	70	31	27	43	192
盛岡市の 情報発信	3	発信の頻度が増える	31	21	10	7	12	6	10	4	101	8	22	13	18	40	101
に望むこ と	4	情報発信のツールが増える	48	25	28	5	17	5	13	6	147	9	37	20	20	61	147
ے	5	今のままでよい	64	31	31	8	9	10	7	3	165	16	29	29	23	68	165
	6	その他	18	6	22	2	4	0	3	0	55	6	19	9	2	19	55
		総数	177	98	136	31	47	20	37	16	562	47	151	92	73	202	565

ここで、クロス表は示さないが、「1 やさしい日本語の発信が増える」を選んだ 189 人と、問4 (1)で市の発信した情報について「5 どれも見ていない」の回答者 (266名) のクロス集計を行ったところ、「やさしい日本語」の発信増を希望する人の約半数 (92人) が「5 どれも見ていない」ことが分かった。

<問4:考察と施策提案>

表7で見たように、「市の広報やHPなどのいずれも見ていない」という回答が多くの在留資格において最多であった。また、困ったことがあったときの情報入手先としても【表 11】、市や協会の情報発信があまり選択されていない。市からの情報を得られないことにより、給付金の受給やワクチン接種などの国や自治体等からの支援が届かないという事態が起こることが懸念される。

また、盛岡市の情報発信【問4(6)】については、上述の通り、「やさしい日本語の発信が増える」を選んだ189人のうち、約半数(92人)は問4(1)で「盛岡市の発信した情報を見ていない」を選択している。このことから、やさしい日本語による発信を強化することにより、今まで市が発信する情報を見ていなかった、あるいは見られなかった人々にとって、情報にアクセスしやすい環境に近づけることができると考えられる。

そこで、やさしい日本語での情報発信とその周知の強化に取り組むことを提案する。在住外国人との共生社会のための施策は、国において「外国人材の受入れ・共生のための総合的対策(令和3年度改訂)」(令和3年6月)として、197施策が策定されるなど多数あるが、その地域の在住外国人数や地域の特性等を把握し、施策の選択と集中を図る必要があろう。在住外国人への情報提供体制の整備は、在住外国人の日常生活において必須のものであり、かつ、非常時においても重要なものであることから、早急に取り組むものとして提案する。

具体的な取り組み例としては、令和4年度に市が導入する市公式 LINE サービスによる市政情報 発信に参加することである。同サービスにおいては、日本人を含んだ利用者に向けた一斉配信のほか、利用者の属性に応じて、対象を絞り込んだ情報発信(セグメント配信)が可能となる予定である。そこで、在住外国人を対象に、やさしい日本語や多言語による生活情報発信を実施することとし、時宜を逃さない情報発信とダイレクトな情報提供を定期的に行うとともに、在住外国人への市の支援体制を随時周知したい。

このような取り組みにより、市や協会が外国人の支援を実施していることが広まり、困ったときの相談先として市や協会が候補となる可能性が高まることが期待される。相談が寄せられることで在住外国人のニーズが把握でき、問題の早急な解消へつながるという循環の構築を図りたい。

さらに、本調査の対象者に対し、令和4年3月中を目途に「調査結果周知ハガキ」を送付する予定である。そのねらいは、回答の協力に対する謝意を伝えるとともに、調査をして「終了」ではなく、市が在住外国人の支援をしていることを伝える点にある。今後、生活で困ったことが生じた際に支援を求める一選択肢として、市や協会が候補にあがる存在になりたいと考えている。

加えて、今後においても、定期的かつ継続的に在住外国人への実態調査を実施することは必要だと考える。実態の把握無しに、有効性のある支援や多文化共生施策を実施することは難しい。ただし、実態調査にはその手法によって行政において金銭的・業務的負担も生じるため、今回のように18歳以上の全外国人を対象とすべきか、あるいは抽出とするか等、方法や調査間隔については今後

検討の余地があろう。

また、【表 10】では、在留資格や在留年数の長短に関わらず、日本語習得の機会が必要とされていることが読み取れる。国においても「日本語教育の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針」(令和 2 年 6 月)が示されていることから、今後、在住外国人に対し、どのような施策が可能かつ有効であるのか、市内の民間日本語教室や就学先、就労先、岩手県、岩手県国際交流協会等関係機関とも連携しながら、検討していく必要があると考える。

あわせて、在住外国人の防災対策や災害時の支援体制についても、問4(3)の分析で言及した「町内会・自治会向けアンケート」、および問2・問3で述べた施策を踏まえながら検討・展開していく必要がある。

<結びにかえて>

最後に、今回実施した調査の設計・方法について付記する。

盛岡市として行なう在住外国人(18歳以上)対象の単独調査は今回が初めてであったが、こうした郵送アンケートとしては高回収率(約4割)といって差し支えないだろう。

この結果は、言うまでもなく回答者の協力あってのことであり、調査実施者として感謝の念に堪 えない。

同時に、本調査後、回答した外国人に市の担当職員が回答した理由の聞き取りを行ったところ、 封筒・質問の言い回しがわかりやすい内容だったこと(事前のプレ調査により内容精査を実施)や 多言語に対応させたこと、Web 回答を用いたこと、周知の徹底、が挙げられた。最後の「周知の徹 底」については、技能実習資格者が勤務している事業所や、留学生が在籍している盛岡市内および 近隣市の専門学校や大学にポスター掲示等の周知を依頼したことなど、各関係機関の賛同や協力が 得られたこともその背景にあると捉えている。

また、Web (Google フォーム) による回答も全体の約半数を占めていることから、今後、在住外国人に向けて市の情報提供を行う際にも参考になると考えられる。

特に令和 2 (2020) 年以降、新型コロナウイルス感染拡大は、人々のコミュニケーションの取り 方に大きな変化をもたらした。その影響は、生活に必要な情報へのアクセスにも及んできたといっ てよい。デジタル情報環境の活用は、こうした「非常時」における不安の軽減にも寄与しうる一つ の方法となろう。

先に述べたように、こうした調査は今後も継続的に行われることが望まれる。情勢の変化が著しい現代において、その社会的要請はより高まっているといえよう。そのためにも、対象者が回答しやすく、個々人の実感・実状が反映されやすく、かつ持続可能な調査の方法をこれからも工夫していくことが必要であろう。

国籍や言語の違いを越え、地域社会の構成員それぞれの声が相互に届けられるような営みを着実 に重ねていくことで、誰もが住みやすい「多文化共生社会」に向けた歩みとなるのではないだろう か。

【謝辞】

今回の調査にあたり、回答にご協力くださった在住外国人の皆様、そして調査の周知にご協力いただいた関係機関・団体の皆様にあらためて御礼申し上げます。

また、事前のプレ調査に参加してくださった皆様からは、建設的かつ貴重なご意見を数多くちょうだいしました。皆様のご助言に深く感謝申し上げます。

【参考資料】

参考資料として、本調査で用いた下記4点を添付する。

(1) 調査依頼文書

- ・対象者への発送時に封入 (ルビ付き日本語・英語・中国語・ベトナム語・ミャンマー語の5言語)
- ・QRコードには取り消し線を加えた。

(2) 郵送調査票

- ・内容は本調査票からの転載であるが、実際の郵送調査票にはヘッダーに「盛岡市在住外国人アンケート調査」と「2021年8月25日まで」の記載がある。
- ・QRコードには取り消し線を加えた。
- (3) 封筒 (発送用)
- (4) 封筒 (返信用)
 - ・返信用封筒の後納番号およびバーコード等には取り消し線を加えた。

もりおかしざいじゅうがいこくじん ちょうさ 盛岡市在住外国人アンケート調査

競型、藍崗市には 約1,600分の 外国人の 光光が 暮らして います。 藍崗市は、外国人の譬さまと 皆本人が、ともに 暮らしやすい まちに したいと 響えて います。 そこで、岩手算金大学と 当緒に、アンケート講響を することに しました。 あなたの 響えは とても 光筋です。ぜひ 質問に 響えて ください。よろしく お願い します。

2021年8宵 藍崗市疫肺交化国際譲

1 響える腎慧:災の ①か②の どちらかの 腎慧で 響えてください。 買警は 1 買だけです。

[芳葉①]・QR コードから インターネットで 馨えてください。

・QR コードは、旨奉語・英語・單箇語・ベトナム語・ミャンマー語 の 5種類 あります。 宇の 5つの QR コードから 1つ 強んで ください。

[芳謀②]・アンケートに 響えて、遺<equation-block>に開封簡に いれ、ポストに 入れて ください。<u>敬重は いりません</u>。 ・アンケートや 遺<equation-block>開封簡には、<u>あなたの</u> 名前や 経前を **書かないで ください**。

- 2 響えてほしい首: 2021年8月25日 (水) まで
- 3 気をつけて ほしいこと:128ず、繁栄 (對簡の名齢の光) が 馨えてください。
- ・このアンケートを 幾るために 健った 個人の情報は、このアンケートの ためにだけ 使います。譬えた人の 名靜や 個人の情報は ほかの人が 知ることは できません。
- ・アンケートの 結棄は、2022年馨霞に、闔箇市の ホームページで 弦闘する 多足です。

このアンケートの担当: 盛岡市交 流推進部文化国際課 山田 / 岩手県立大学総合政策学部 山田・Tee 〒020-8580 盛岡市内丸12-2 **し**:019-626-7524 E-mail: bunkakokusai@city.morioka.iwate.jp



口 米三五



英語 English



中国語 中文



ベトナム記 Tiếng Việ



ミャンマー語 |4ásのののの

QRコードは選デンソーウェーブの登録商標です。

Survey for foreign residents in Morioka ~Please complete this questionnaire by August 25th~

Morioka City, Culture and International Division, August, 2021

The city aims to build a culturally harmonious environment for all residents in Morioka. To get a grasp of the situation, the city has conducted the survey collaborating with Iwate Prefectural University. It is important for us that you provide us with your answers to this questionnaire.

- Please select either options, ① or ② to answer the questionnaire.
 [Option ①] · Please select ONE language from the QR codes provided and answer online.
 - Select your language from Japanese, English, Chinese, Vietnamese and Myanmar.
- [Option ②] · Answer directly to this questionnaire, disclose it in a return envelope and send it to us. No stamp required.
 - · Do not write your name and address on this questionnaire or the return envelope.
- 2. Please answer this questionnaire by: August 25th (Wed)
- 3. Please note: This questionnaire must be answered by Yourself (an addressee of this letter).
- * The information provided will be used for the survey purposes only and your personal information will be kept confidential.

Contact: Yamada at Morioka City Hall, Public Engagement Department, International and Cultural Division /

Yamada and Tee at Iwate Prefectural University, Faculty of Policy Studies

7020-8530 Morioka City, Uchimaru 12-2

Morioka City Hall, Public Engagement Department, International and Cultural Division

📞: 019-626-7524 E-mail: bunkakokusai@city.morioka.iwate.jp



针对住在盛风市的外国人的问卷调查

~请给予协助:请于8月25日前回答~

2021年8月 盛冈市役所文化国际课

盛冈市希望成为外国人和日本人均适宜居住的城市。因此,决定市与岩手县立大学一起开展相关问卷调查工作。

您的回答非常重要。我们真心希望得到您的回答。感谢配合。

- 1 回答方法: 请选择以下①或②的方法进行回答。回答一次即可。
- [方法①] ·扫描二维码后,在网上进行回答。
 - ・二维码有日语、英语、中文、越南语、缅甸语共五种。
- [方法②] ·纸质问卷调查上填写回答后,请放入回信用信封并投至邮简。 邮票无需贴上。
 - ・问卷调查及回信用信封上,<u>请不要写上您的姓名、住址等。</u>
- 2 回答期限: 2021年8月25日(周三)
- 3 注意事项:请务必由本人(信封上的收件人)来进行回答。
- * 为了寄送此问卷调查而使用的个人信息是,仅用在此问卷调查上。回答问卷调查的人的姓名以及个人信息是, 他人是无法知道的。

此问卷调查的负责人: 盛冈市文化国际课 山田 / 岩手县立大学综合政策学部 山田·Tee

〒020-8530 盛冈市内丸 12-2 📞: 019-626-7524 E-mail: bunkakokusai@city.morioka.iwate.jp

Điều tra khảo sát người nước ngoài đang sinh sống ở thành phố Morioka ~ Yêu cầu hợp tác: Vui lòng trả lời câu hỏi trước ngày 25 tháng 8 ~

Tháng 8 năm 2021: Ban Văn hóa Quốc tế - Trụ sở Hành chính Thành phố Morioka

Thành phố Morioka mong muốn xây dựng nên một thành phố có người nước ngoài và người Nhật thoải mái sinh sống cùng nhau. Vì vậy, chúng tôi đã quyết định cùng với Đại học Tỉnh Iwate thực hiện một cuộc điều tra

Câu trả lời của ban là rất quan trong đối với chúng tôi. Mong nhân được câu trả lời của các ban. Rất mong được giúp đỡ.

 Phương pháp trả lời: Vui lòng trả lời bằng một trong hại phương pháp ① hoặc ② dưới đây. Chỉ trả lời 1 lần duy nhất.

[Phương pháp ①] - Hãy chọn 1 mã QR và trả lời qua Internet.

- Có 5 mã QR gồm tiếng Nhật, tiếng Anh, tiếng Trung Quốc, tiếng Việt Nam và tiếng Myanmar.

[Phương pháp ②] - Hãy trả lời khảo sát, sau đó cho vào bì thư hồi âm và bỏ vào thùng thư. Không cần tem. Đừng qhi tên hoặc địa chỉ của ban lên trên bì thư hồi âm.

- Ngày mong muốn nhân được câu trả lời: Trước ngày 25 tháng 8 năm 2021 (thứ Tư)
- Điều cần chú ý: Nhất định phải là bản thân mình (người có tên trên bì thư) tự trả lời.
- * Thông tin cá nhân được sử dụng để gửi khảo sát này sẽ chỉ được sử dụng cho khảo sát này. Người khác sẽ không thể biết tên cũng như thông tin cá nhân của người đã trả lời.

Người phụ trách khảo sát này: Yamada - Ban Văn hóa Quốc tế Thành phố Morioka

Yamada và Tee - Khoa Chính sách Tổng hợp - Đại học Tỉnh Iwate

Mã số bưu chính: 020-8530. 12-2 Uchimaru, thành phố Morioka 📞: 019-626-7524 E-mail: bunkakokusai@city.morioka.iwate.jp



မိုရိအိုခါ့မြို့နေ နိုင်ငံခြားသားများထံ အကြံပြုချက်စစ်တမ်း ကောက်ယူခြင်း ယခုနှစ်၏ ၈လပိုင်း ု၅ရက်မတိုင်မီ ဖြေကြားပေးခြင်းဖြင့် ပူးပေါင်းကူညီပေးပါရန်

၂၀၂၁ခုနှစ် ၈လ မိုရီအိုခါမြိုနွယ်ရုံး ယဉ်ကျေးမှုနှင့်နိုင်ငံတကာရေးရာဌာန မိုရီအိုခါမြိုတွင်အတူနေထိုင်ကြသော နိုင်ငံရပ်ခြားမှလူမျိုးများနှင့်ဂျပန်လူမျိုးအားလုံးအတွက် နေချင်စဖွယ်ကောင်းသော မြို့တစ်ခုဖြစ်လာစေရန် အိဝါတဲခရိုင်တက္ကသိုလ်၏ အကူအညီကို ရယူကာ အကြံပြုချက် စစ်တမ်းအသွင်ဖြင့် အချက်အလက် စုဆောင်းရှာဖွေခြင်းကို စိတင်လိုက်ပါသည်။သင်တို့၏အကြံပြုချက်များကိုတန်ဖိုးထားဖတ်ရှုလိုပါသဖြင့် အဆိုပါအကြံပြုချက် စစ်တမ်းမေးခွန်းလွှာအား ဖြေကြားပေးစေလိုပါကြောင်း လေးစားစွာဖြင့် ပန်ကြားအပ်ပါသည်။

၁။ အောက်ဖေါ်ပြပါ ဖြေကြားနည်း(၁)သို့မဟုတ် (၂) အနက်မှ <u>တစ်နည်းကိုရေးချယ်၍ တစ်ကြိမ်သာ</u>ဖြေကြားရပါမည်။ (ဖြေနည်း ၁) QRကုဒ်မှ <u>တစ်ခုကို</u>ရွေးချယ်၍ အင်တာနက်မှတစ်ဆင့် ဖြေကြားပေးပါ။

QRကုဒ်တွင် ဂျပန်၊အင်္ဂလိပ်၊တရုတ်၊ဗီယက်နမ်၊မြန်မာဘာသာဟူ၍ဘာသာစကား(၅)မျိုးပါရှိပါသည်။ (ဖြေနည်း ၂) စစ်တမ်းမေးခွန်းလွှာကိုဖြေကြား၍ ပြန်စာသုံးစာအိတ်တွင်ထည့်၍

စာတိုက်ပုံးထဲသို့ထည့်ပါ။<u>တံဆိပ်ခေါင်းကပ်ရန်မလိုပါ။</u>

စစ်တမ်းမေးခွန်းလွှာနှင့်ပြန်စာသုံးစာအိတ်ပေါ်တွင် <u>သင်၏အမည်နှင့်လိပ်စာတိုကိရေးသားခြင်းမပြုပါနှင</u>်။ ၂။ ယခုနှစ် ၂<u>၀၂၁ခနှစ် ၈လ ၂၅ရက် (ဗဒဟးနေ့) ကိနောက်ဆုံးထား၍</u> ဖြေကြားပေးစေလိုပါသည်။ ၃။ သတိပြုရမည့်အချက်။ <u>ကာယကံရှင်(စာအိတ်ပေါ်မှအမည်ရှင်)ကိုယ်တိုင်ကသာ</u> ဖြေကြားပေးပါရန်။ 🗴 ဤစစ်တမ်းကိုပေးပို့ရာတွင်အသုံးပြုသော ပုဂ္ဂိုလ်ရေးဆိုင်ရာအချက်အလက်များသည် ဤစစ်တမ်းရည်ရွယ်ချက်အတွက်သာ အသုံးပြုသွားမည်ဖြစ်ပြီး၊စစ်တမ်းကိုဖြေဆိုသူမှလွှဲ၍ အခြားမည်သူတစ်ဦးတစ်ယောက်ကိုမျှ အသိပေးမည်မဟုတ်ပါ။

စစ်တမ်းကောက်ခံရေးတာဝန်ခံ ။ မိုရိအိုခါမြို့ နယ်ဆိုင်ရာ ယဉ်ကျေးမှုနှင့်နိုင်ငံတကာရေးရာဌာန ယာမါဒါ နှင့် အိဝါတဲခရိုင်တက္ကသိုလ် အထွေထွေမူဝါဒဘာသာရပ်ဌာန ယာမာဒါ / Tee စာတိုက်သင်္ကေတအမှတ် ဝ၂ဝ-၈၅၃ဝ မိုရိအိုခါခရိုင် အချိမာရှရပ်ကွက် အကွက် (၁၂) အမှတ် (၂)___ တယ်လီဖွန်းအမှတ် ၀၁၉-၆ ၆-၇၅၂၄ အီးမေးလ် bunkakokusai@city.morioka.iwate.jp



(2) 郵送調査票

あなたの 警えは とても 学切です。一一覧です、一学学、学学 (野餐の名前の学) が 響えてください。



[腎襞①]・礬の QR コードから インターネットで 答えてください。

・QR コードは、日本語・発語・神宮語・ベトナム語・ミャンマー語の 5種類あります。10 選んでください。



- ・あてはまる蕃号を ちで 笛んでください。 例:①
- ・ 逡信角野筒に いれ、ポストに 入れて ください。 助手は いりません。
- ・アンケートや 逡信用對筒には、あなたの 茗前や 筐がを 書かないで ください。



:んとう もりおかしこうりゅうすいしんぶぶんかこくさいか やまだ いわてけんりつだいがくそうごうせいさくがくぶ やまだ 担当・成岡市 な 流 推進畝女化国際課 山田 / 岩毛県立 大学総会 政 第学部 山田・Toc

〒020-8530 盛岡市内丸 12-2 📞 : 019-626-7524 E-mail : bunkakokusai@city.morioka.iwate.jp

問1 あなたのことを 教えてください。

(1) あなたの 国籍 (国・地域) は どこですか。(<u>1つ</u>だけ○)

- ちゅうごく
 かんこく ちょうせん

 ① 中 国
 ②韓国・朝鮮
 - ない ちょうぜん マストナム 第国・朝鮮 3ベトナム
- ④フィリピン

- ⑤ミャンマー
- ⑥ネパール
- ⑦モンゴル
- ⑧バングラデシュ

- 9アメリカ
- **10**インドネシア
- ⑪その他

(2) あなたの 性別を 教えてください。(1つだけ \bigcirc)

- ①男性
- ②女性
- ③その他
- ④答えたくない

(3) 何歳ですか。(<u>1つ</u>だけ○)

- ①19歳以下
- ②20~29歳
- ③30~39歳
- ④40~49歳

- ⑤50~59 歳
- ⑥60~69歳
- ⑦70歳以上

(4) 在 留資格は どれですか。(<u>1つ</u>だけ〇)

- えいじゅうしゃ とくべつえいじゅうしゃ ①永住者・特別永住者
- 2 留学
- ③技能実習
- ④特定技能

⑤日本人の配偶者等

- ⑥家族滞在
- 7特定活動
- ⑧技能

- ⑨技術・人文知識・国際業務
- ⑩その他

(5) 日本には 全部で どのくらい 住んでいますか。 (10だけ \bigcirc)

①6か月未満

- ②6か月~1年未満
- ③1年以上~3年未満

- ④3年以上~5年未満
- ⑤5年以上~10年未満
- ⑥10年以上

(6) 盛岡市には 全部で どのくらい 住んでいますか。 (1つだけ \bigcirc)

- ①6か月未満
- ②6か月~1年未満
- ③1年以上~3年未満

- (4) 3年以上~5年未満 (5) 5年以上~10年未満
- ⑥10年以上

(7) あなたの 仕事・職 業 を 教えてください。(1つだけ○)

- ①正社員・正職員
- ②アルバイト・パート
- 4)学生

- ⑤技能実習生
- ⑥特定技能

- の自営業
- (8)主婦·主夫

- ⑨仕事はしていない ⑩いま仕事を探している ⑪その他

間2 あなたの 日本語について 教えてください。

- (1) あなたは 日本語検定(日本語能力試験)を 持っていますか。
- ①持っている(次の1つに〇 \Rightarrow N5 · N4 · N3 · N2 · N1)
- ②持っていない

(2) あなたが 日本語で できることは どれですか。(<u>いくつでも</u>○)

- ①レストランで 日本語のメニューから 注文する
- ②市役所で
 書類に
 日本語で
 書く
- ③病院で 症状を 日本語で 説明する
- 4日本の テレビのニュースが だいたいわかる

問3 あなたが 住んでいる 地域のことについて 教えてください。

(1) あなたは 町内会や 自治会に 入っていますか。 (10)だけ〇)

- ①はい
- ②いいえ ③わからない
- ますないかい じちかい し ④町内会や自治会を知らない

(2) あなたが 参加した ことのある、地域の 活動 は ありますか。(いくつでも \bigcirc)

①地域の祭り

②地域の スポーツ大会

(3)地域の 清掃 活動

- (4) 日本語や 日本文化を 学ぶ 教室
- ⑤趣味などの サークル活動
- るいがい お とき くんれん (6)災害が 起きた時の ための訓練
- ⑦興味は あるが 参加したことは ない 8参加したいと 思わない

⑨その他

- (3) 地域の 住民について どのようなことを 感じますか。(<u>いくつでも</u>〇)

 - ②もっと地域住民と交流したい
 - ③共に 生きる パートナーだと 感じる
 - ④習慣や文化の違いもあり、不安を感じる
 - ⑤どのように 付き合えば よいか わからない
 - ⑥特に 何も 感じない
 - (7)その他

間4 あなたの 今の 生活に ついて 教えてください。

- もりおかしゃくしょ もりおかこくさいこうりゅうきょうかい た (1) 盛岡市役所や 盛岡国際交流協会が 出している 情報で、 あなたが よく 見ている ものを 教えてください。(いくつでも○)
 - こうほうし こうほう ①広報誌「広報もりおか」
- もりおかしこうしき ②盛岡市公式ホームページ
- 3 監問国際交流協会ホームページ4 監問国際交流協会 Facebook

- ⑤どれも 見ていない
- (2) 盛岡市広報誌「広報もりおか」は、どのような 方法で 見ていますか。(<u>いくつでも</u>〇)
- ①自分の家に 紙で配られるもの ②盛岡市公式ホームページの 「リビングガイドもりおか」
- ③ 見ていない

- ④その他
- (3) 災害に $\hat{\mathbf{m}}$ えて あなたが していることは ありますか。($\underline{\mathbf{n}}$ くつでも $\underline{\mathbf{n}}$)
 - ①災害が 起きた時に 逃げる 場所の 確認
 - ②災害情報を手に入れる方法を知る
 - ③災害について 質問できる 場所の 確認
 - ④食料や水の用意
 - ⑤住んでいる場所の 過去の 災害について 知る

 - ⑦何を したらよいか わからない
 - (8) その他

(4)盛岡市役所は	がいこくじん 外国人が	暮らしやすい	ように、	ニォ 困っていることを	てった 子伝いたいと	^{おも} 思っています。
あなたが 困ってい	ることや 手	った 伝って ほしい	ことが あ	ったら 教えて く	ください。(<u>5つ</u>	<u>まで</u> ()

- にほんご べんきょう ①日本語の 勉 強
- ③住居
- (5)病気や けがなどの 医療
- ⑦ゴミの 出し方
- (9)警察や 救急
- ⑪お金のこと
- ③戸籍・福祉・税金など、市や 国の 制度
- 15特にない

- (2)子供の 教育
- ① しごと こよう② 仕事や 雇用
- ⑥地域や 近所との 付き合い
- (8)交通ルール
- ⑩災害のこと
- (12)日本の 文化・風習
- ⑪生活に関する 情報が得られないこと
- 16その他
- (5) 上の 間4 (4) のように 困っていることが あるとき、あなたは どこから 情報を 得て いますか。(3つまで○)
- ①盛岡市の広報誌「広報もりおか」
- もりおかこくさいこうりゅうきょうかい ③盛岡国際交流協会ホームページ・SNS
- いわてけんこくさいこうりゅうきょうかい (5)岩手県国際交流協会
- できた。 ⑦学校・働いているところ
- がいこくじん の外国人の SNS
- ⑪日本人の知り合いや友達
- (13) 情報が得られない

- もりおかしこうしき ②盛岡市公式ホームページ
- ⑥日本のメディア(テレビ・雑誌・新聞)
- (8) 日本人の SNS
- ⑩いっしょに 住んでいる 家族・親族
- 四自分と 間じ国から 来た 知り合いや 友達
- 倒その他
- (6) 盛岡市の情報発信は どうなれば もっとよいと 思いますか。(いくつでも〇)
 - ①やさしい日本語の 発信が 増える
 - ③発信の頻度が 増える
 - ⑤今の ままで よい

- ②言語の数が ^{ゅっ} 増える
- ④情報発信のツールが増える
- ⑥その他

アンケートは おわりです。 ご協力 ありがとう ございました。

表面 裏面



盛岡市在住外国人アンケート調査 8月25日までに 回答を お願いします。

Survey for foreign residents in Morioka \sim Please complete this questionnaire by August 25th \sim

针对住在盛冈市的外围人的问卷调查 ~请给予协助:请于8月25日前回答~

Điều tra khảo sát người nước ngoài đang sinh sống ở thành phố Morioka Vui lòng trả lời trước ngày 25 tháng 8.

မိုရိအိုခါမြို့နေ နိုင်ငံခြားသားများထံ အကြံပြုချက်စစ်တမ်း ကောက်ယူခြင်း (စစ်တမ်းမေးခွန်းအား ယခုနှစ်၏ ၈လပိုင်း ၂၅ရက်နေ့မတိုင်မီ ဖြေဆိုပေးပါရန်။)



盛岡市役所文化国際課 / 岩手県立大学総合政策学部 山田研究室

〒020-8530 盛岡市内丸 12-2 📞: 019-626-7524 E-mail: bunkakokusai@city.morioka.iwate.jp



盛尚市役所文化国際課 / 岩手県立大学総合政策学部 山田研究室

〒020-8530 盛岡市内丸 12-2 📞:019-626-7524 E-mail: bunkakokusai@city.morioka.iwate.jp

Contact: Morioka City Hall, Public Engagement Department, International and Cultural Division / Yamada and Tee at Iwate Prefectural University, Faculty of Policy Studies

此问卷调查的负责人:

盛冈市文化国际课/岩手县立大学综合政策学部 山田・Tee

Người phụ trách khảo sát này:

Yamada - Ban Văn hóa Quốc tế Thành phố Morioka

Yamada và Tee - Khoa Chính sách Tổng hợp - Đại học Tỉnh

စစ်တမ်းကောက်ခံရေးတာဝန်ခံ။

မိုရိအိုခါ့မြို့နယ်ဆိုင်ရာ ယဉ်ကျေးမှုနှင့်နိုင်ငံတကာရေးရာဌာန ယာမါဒါ နှင့် အိဝါ့တဲခရိုင်တက္ကသိုလ် အထွေထွေမူဝါဒဘာသာရပ်ဌာန ယာမာဒါ / Tee

表面

裏面



T020-0190

差出有効期間 令和3年10月

岩手県滝沢市巣子 152-52 岩手県立大学 総合政策学部

山田研究室 宛て

もりおか し ざいじゅうがいこくじん 5,5 ಕ

盛岡市在住外国人アンケート調査 (8月25日まで)

Survey for foreign residents in Morioka

 \sim Please complete this questionnaire by August 25th \sim

针对住在盛冈市的外国人的问卷调查

~请给予协助:请于8月25日前回答~

Điều tra khảo sát người nước ngoài đang sinh sống ở thành phố Morioka. Vui lòng trả lời trước ngày 25 tháng 8.

မိုရိအိုခါ့မြို့နေ နိုင်ငံခြားသားများထံ အကြံပြုချက်စစ်တမ်း ကောက်ယူခြင်း

(စစ်တမ်းမေးခွန်းအား ယခုနှစ်၏ ၈လပိုင်း ၂၅ရက်နေ့မတိုင်မီ ဖြေဆိုပေးပါရန်။)



盛岡市役所文化国際課/ おってけんりつだいがくもうこうせいさくがくぶ やまだけんきゅうしつ 岩手県立大学総合政策学部 山田研究室

〒020-8530 盛岡市内丸 12-2 📞:019-626-7524 E-mail: bunkakokusai@city.morioka.iwate.jp

もり封か し ざいしゅうがいこくじん がつ 盛岡市在住外国人アンケート調査 (8月25日まで)

- ・切手は <u>いりません</u>。
- ・アンケートや 遊信開勤管には、<u>あなたの 名前や 怪跡を</u> 書かないで ください。

Survey for foreign residents in Morioka

- \sim Please complete this questionnaire by August 25th \sim
- ·No stamp required.
- · Do not write your name and address on this questionnaire or the return envelope.

针对住在盛冈市的外国人的问卷调查

- ~请给予协助:请于8月25日前回答~
- ・邮票无需贴上。<u>问卷调查及回信用信封上,请不要写上您的姓</u> <u>名、住址等。</u>

Điệu tra khảo sát người nước ngoài đang sinh sống ở thành phổ Morioka Vui lòng trả lời trước ngày 25 tháng 8.

- Không cần tem.
- · Đừng ghi tên hoặc địa chỉ của ban lên trên bì thư hồi âm.

မိုရိအိုခါမြို့နေ နိုင်ငံခြားသားများထံ အကြံပြုချက်စစ်တမ်း ကောက်ယူခြင်း (စစ်တမ်းမေးခွန်းအား ယခုနှစ်၏ ၈လပိုင်း ၂၅ရက်နေ့မတိုင်မီ ဖြေဆိုပေးပါရန်။) *တံဆိပ်ခေါင်းကပ်ရန်မလိုပါ။

*စစ်တမ်းမေးခွန်းလွှာနှင့်ပြန်စာသုံးစာအိတ်ပေါ်တွင် သင်၏အမည်နှင့်လိပ်စာတို့ကိုရေးသားခြင်းမပြုပါနှင့်။